

令和3年度
文翔館創作公演事業

名倉明子作品 を歌う

～アンサンブル^{ベッレ}belleと
ソプラノ独唱～

令和4年

3/20^日

文翔館 議場ホール
14:00 開演 (13:15 開場)

【入場料 (全席自由)】

一般：1,100円
(当日券：1,300円)

高校生以下：500円
(当日券：700円)

※当日券は残席のある場合のみ販売します。
※未就学児入場無料 (ただし、席が必要な場合は有料)

【チケット取扱】

文翔館・山形県芸文美術館・辻楽器店・富岡本店・
八文字屋本店・ミュージック昭和・県庁購買部

出演者
プログラム

合唱 アンサンブル^{ベッレ}belle

・【新作合唱曲】

女声合唱とピアノのための《さくら-ひるの-》

(詩:いとう柚子/作曲:名倉明子)

・日本の四季めぐり(編曲:名田綾子)

独唱 真下祐子(ソプラノ)

・名倉作品とイタリア・バロック マドリガーレの世界

Sing Akiko Nagura's work ~ Chorus and Solo ~

Artist Ensemble belle and more Date Sunday・March 20th, 2022・2p.m.

Venue Assembly Hall of Bunshokan Contact 3-4-51 Hatago-machi, Yamagata-shi / TEL 023-635-5500

主催/山形県・公益財団法人山形県生涯学習文化財団 主管/山形県芸術文化協会 お問合せ/文翔館 TEL 023-635-5500

- 議場ホールは、大正時代の様式の旧県会議事堂を復原した国の重要文化財であるため、一般的なホールとは異なり床は平面で固定席はありません。また、議場ホール内には待機スペースがないため、開場時間まで中へ入ることができません。天候・気温対策を万全にご来場ください。隣接の旧県庁舎は開館時間中(9:00～16:30)にご見学が可能です。
- 新型コロナウイルス感染拡大により、開催について変更が生じる場合には文翔館HPに掲載しますので、最新情報をご確認ください。



▶▶▶ 文翔館 HP

令和3年度文化庁
文化芸術創造拠点形成事業

文化庁

beyond
2020

アンサンブルbelle (合唱)

belle(ベッレ)とは良い・美しい・美人などの意味があります。6年前に若いメンバーが名付けました。

コールファンタジーという女声合唱団にとっても若いメンバーが二人入って来た時、嬉しくて「ずっと辞めないで〜」と願い、「若い人は少人数のアンサンブルが好きなんじゃない!?!」と思い、コンサートのワンステージでやってみました。それが足元のきっかけです。

やってみたら楽しくて、その後調子に乗って、山形県合唱連盟のアンサンブルフェスティバルに出場し、3年連続講評者特別賞を受賞。さらに調子に乗って2018年、2020年、2021年と単独コンサートが続けました。しかし、若い一人は他県に嫁ぎ、一人は仕事が忙しいと退会。実はアンサンブルbelleは、人生経験豊かな、熟女達のグループです。



今川淳子 大澤由紀子 小野弘子 金澤多可子 菅野順子 郷野洋子
佐藤 都 鈴木由美 高橋直子 丹野順子 長谷川典子 森谷美千子
渡辺由美 ピアノ・工藤恭子

名倉明子 (作曲)

宇都宮市生まれ。東京藝術大学音楽学部作曲科卒業、同大学大学院音楽研究科作曲専攻修了。作曲を浦田健次郎、丸田昭三、山田泉、松村禎三の各氏に師事。第17回現音作曲新人賞、第70回日本音楽コンクール作曲部門第1位、安田賞、第4回宇都宮エスペール賞、第2回牧野由多可賞作曲コンクール佳作、うつのみや市民賞、栃木県産業協議会芸術文化貢献賞、板橋区民俗文化優秀賞を受賞。近作に《さくらはじめてひらく》(二十絃箏ソロ・宇都宮市委嘱)、《蓮のある風景》(弦楽四重奏)、《書屋の蝶》(三味線ソロ・本條秀慈郎氏委嘱)、《夢虫》(打楽器ソロ)、《よだかの星 - 宮沢賢治「よだかの星」によせて - (混声四部合唱版)》(詩:北村すみ・山形大学混声合唱団委嘱)など。現在、山形大学地域教育文化学部准教授。特定非営利活動法人日本現代音楽協会、アプサラス、OTOの会各会員。



真下祐子 (ソプラノ)

愛知県立芸術大学音楽学部卒業、ヴィオッティ音楽院修了。ヴィリアノヴィーヴァ国際コンクール3位入賞。ソロリサイタル開催の他、各種コンサート、ベートーヴェン「第九」モーツァルト「レクイエム」ソリスト、公益財団法人山形県生涯学習文化財団(現)芸術文化鑑賞普及事業オペラ公演に出演。合唱では、これまでに寒河江市少年少女合唱団や一般合唱団及び小・中・高校で指導の他、東北大学混声合唱団でのヴォイストレーナーを務める。現在、県立山形北高等学校及び山本学園高等学校非常勤講師。山響アマデウスコア コンサートミストレス。



大石祥之 (チェンバロ)

ミラノ市立音楽院古楽科にてチェンバロをラウラ・アルヴィーニ、マウリーツィオ・クローチ、オルガンと室内楽をロレンツォ・ギエルミ、通奏低音をアントニオ・フリジェに師事。ローディ市立音楽院ではイタリア初期のバロック音楽をロベルト・ジーニのもとで学ぶ。またエンリコ・バイアーノ、ピエール・アンタイ、ユゲット・ドレフュス、トレヴァー・ピノックら各氏によるマスタークラスにて研鑽を積む。平成16年度文化庁芸術家在外研修員。仙台青葉学院短期大学 非常勤講師。



いとう柚子 (詩)

新庄市出身
日本現代詩人会会員
山形県詩人会会員
山形市芸術文化協会会員

1987年 第1詩集『まよなかの笛』を
あうん社より刊行
(山形市芸術文化協会奨励賞受賞)
2000年 第2詩集『樹の声』を書肆犀より刊行
2011年 第3詩集『月のじかん』を書肆犀より刊行
(山形県詩人会賞受賞、山形市芸術文化協会賞受賞)
2018年 第4詩集『冬青草をふんで』をコールサック社より刊行
2019年 詩編「春の鳥かご」が第15回日本詩歌句協会賞の詩部門
優秀賞受賞



田中奈織美 (ピアノ)

山形県立山形北高等学校音楽科、東京音楽大学器楽科卒業。ハンガリー国立リスト音楽院留学。ピアノを(故)村川房枝、(故)森山三郎、原田英紀、中川和義の各氏に師事。その後、岩崎淑、上野久子、菊地麗子の各氏に師事。ハンガリー留学中はジョルジ・ナードル教授に師事。第3回山形県ジュニア音楽コンクール・コンチェルト部門金賞。2000年に帰国。財団法人山形県生涯学習文化財団 文翔館月例コンサートに出演。現在は、山形県を中心にアンサンブル・声楽伴奏などの演奏活動をおこなっている。「タウベンコール」、女声合唱団「ささゆり」、女声合唱団「コール・ミキ」の常任ピアニスト。



感染症対策のお願い

- 咳、のどの痛み、倦怠感、味覚・嗅覚異常、37.5度以上の発熱があるなど、体調がすぐれない方はご来場をお控えください。
- 手指の消毒・検温・マスクの着用・換気にご協力ください。 ●入場時の整列や休憩の際は、お客様同士の間隔を確保するようにご協力ください。
- 予めチケット半券にお名前・お電話番号をご記入のうえご来場ください。いただいた情報は厳重に管理し、必要に応じて保健所等に提供する場合があります。
- 新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」をご利用ください。